

令和 3年 4月27日

松山河川国道事務所

開通見通しのお知らせ

国道56号 まつやまとかんじょう 松山外環状道路空港線 **令和6年春頃**部分開通予定国道11号 にい はま 新居浜バイパス **令和6年春頃**部分開通予定国道11号 こまつ 小松バイパス **令和5年内** 部分開通予定

～「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を公表～

国土交通省では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定しました。

上記プログラムに位置づけられた、四国地方整備局松山河川国道事務所で開催を進めている下記3事業において、事業工程の精査を行い、一定の見通しがついたことから、開通予定を公表いたします。

■国道56号 まつやまとかんじょう 松山外環状道路空港線 ようご みなみ (余戸南IC)～ひがし は ぶ 東垣生IC (仮称) 2.4 km【開通予定】 **令和6年春頃**

【整備効果】 渋滞緩和、所要時間短縮、産業活性化、通学路の安全性向上、交通事故減少

■国道11号 にい はま 新居浜バイパス (新居浜市 にしき こうじ ちょう 西喜光地町～ほんごう 本郷一丁目) 1.1 km【開通予定】 **令和6年春頃**

【整備効果】 渋滞緩和、産業活性化

■国道11号 こまつ 小松バイパス さいじょう (西条市小松町 こまつちょうしん やしき 新屋敷) 0.4 km【開通予定】 **令和5年内**

【整備効果】 渋滞緩和

引き続き、早期開通に向け、事業を推進してまいります。

本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

四国地方整備局 松山河川国道事務所 TEL: 089-972-0034 (代表)

副所長 (道路) なかの はるき 中野 晴樹 (内線205)○調査課長 くろだ よしひろ 黒田 美裕 (内線451)

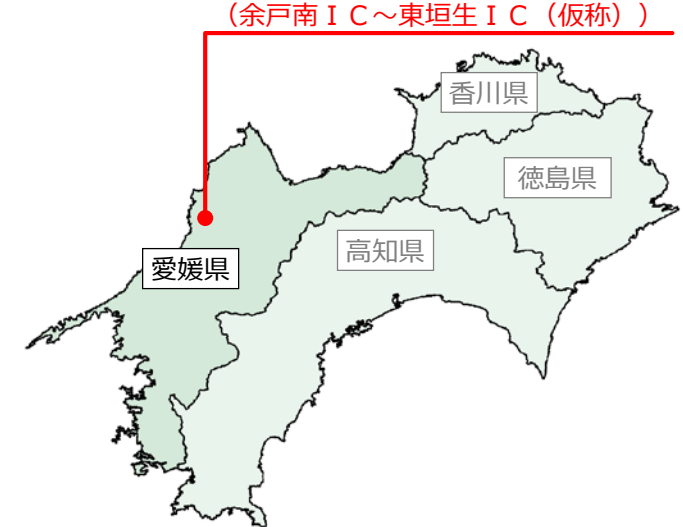
国道56号 松山外環状道路空港線 事業概要



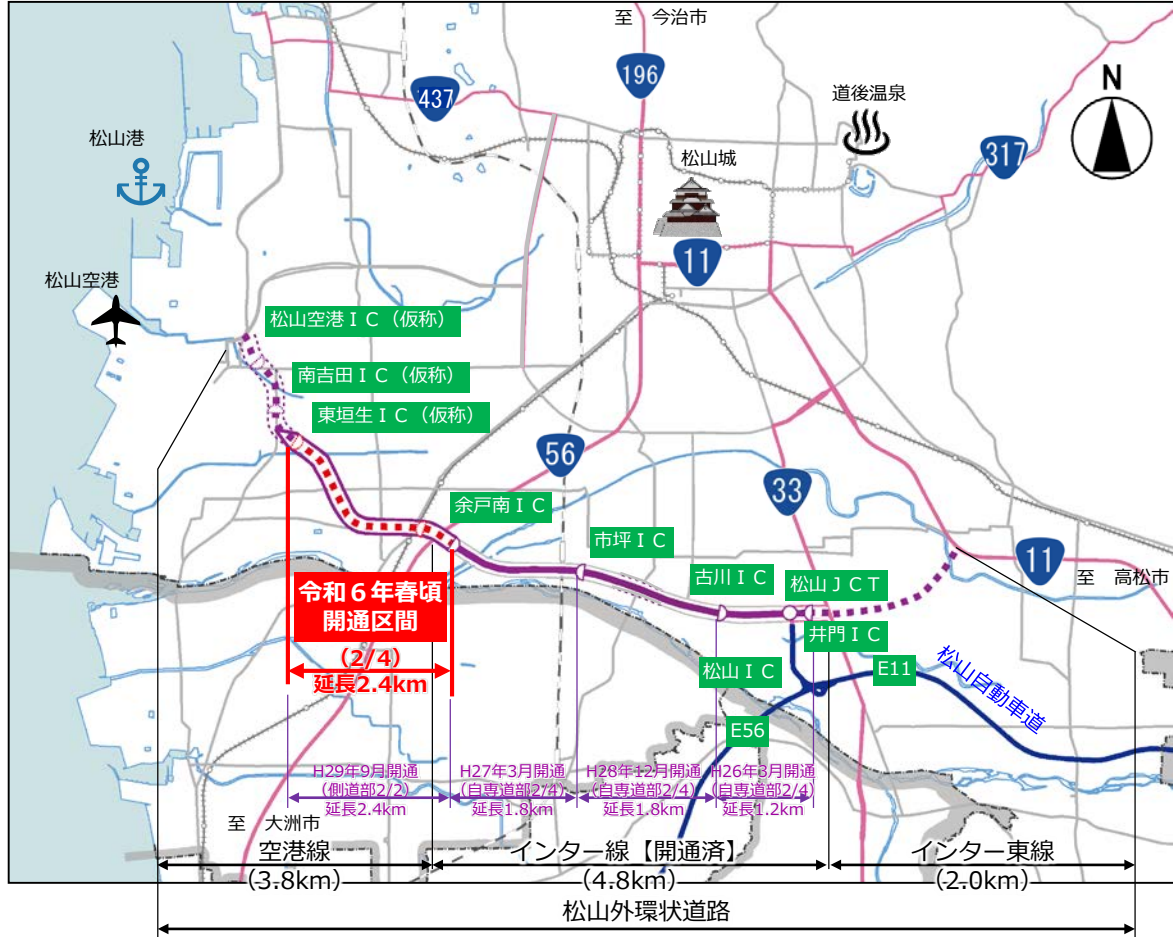
○国道56号 松山外環状道路空港線は、愛媛県松山市都市圏内の交通渋滞の緩和及び交通安全確保を図るとともに、四国縦貫自動車道松山ICと松山空港等とのアクセス向上を目的とする道路です。

○この内、令和6年春頃に余戸南IC～東垣生IC（仮称）の2.4km（自動車専用道路）が開通します。

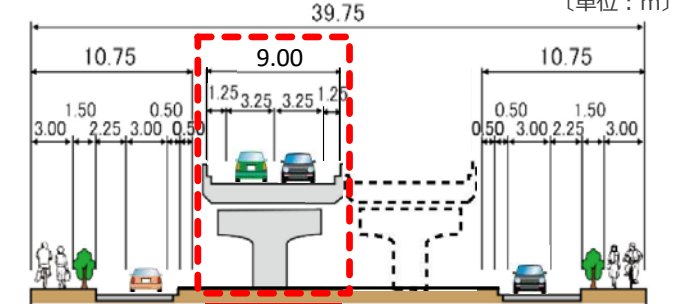
■位置図 国道56号 松山外環状道路 空港線 (余戸南IC～東垣生IC（仮称）)



■詳細図



■標準断面図（暫定2車線）



令和6年春頃開通区間

構造規格	第2種第2級（自動車専用道路）
設計速度	60km/h
標準幅員	18.25m（完成4車線） 9.00m（暫定2車線）

■主な事業の経緯

平成21年3月	事業化
平成29年9月	余戸南ICランプ部開通

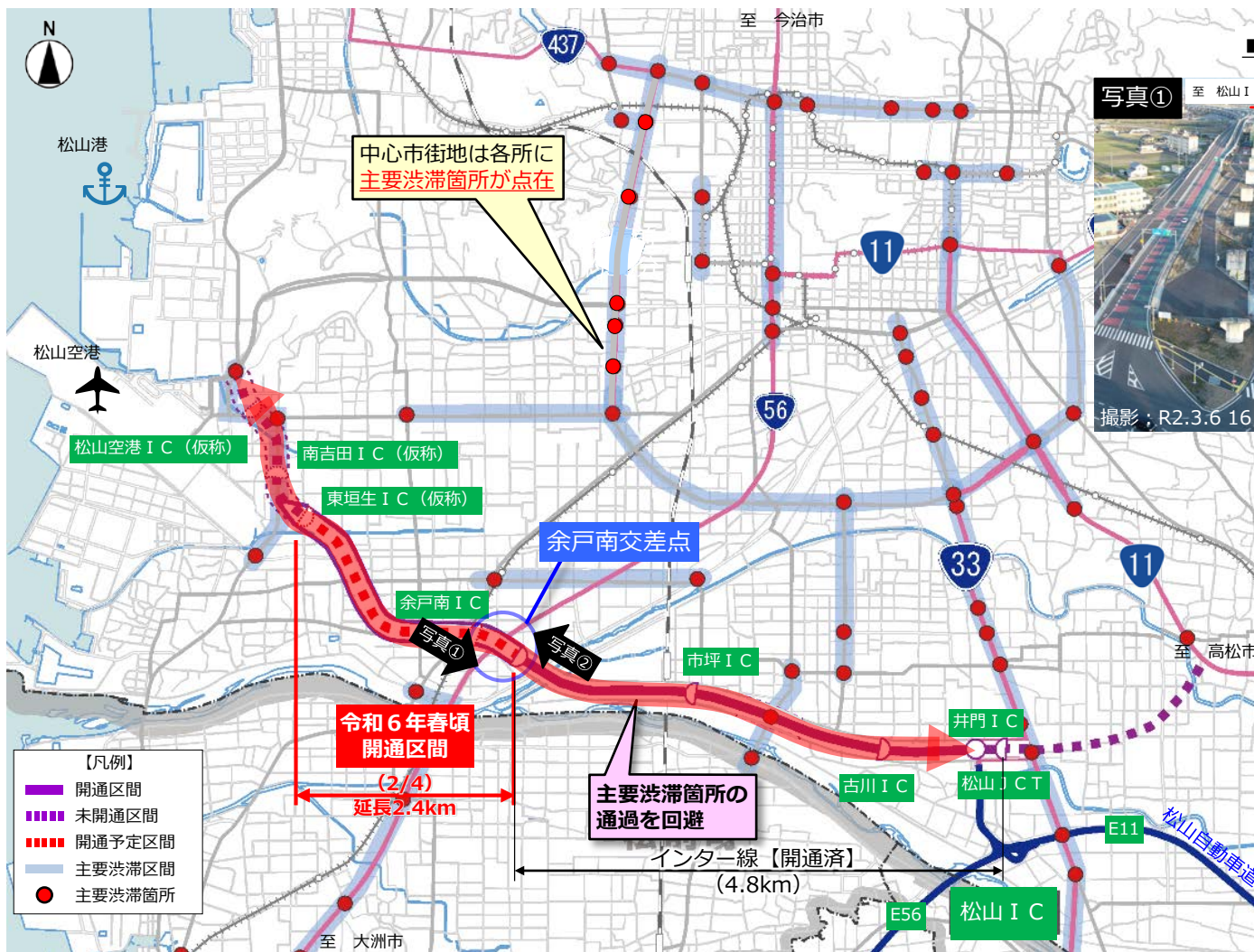
【凡例】

高速道路	松山外環状道路
国道	開通区間
その他の道路	未開通区間
	開通予定区間

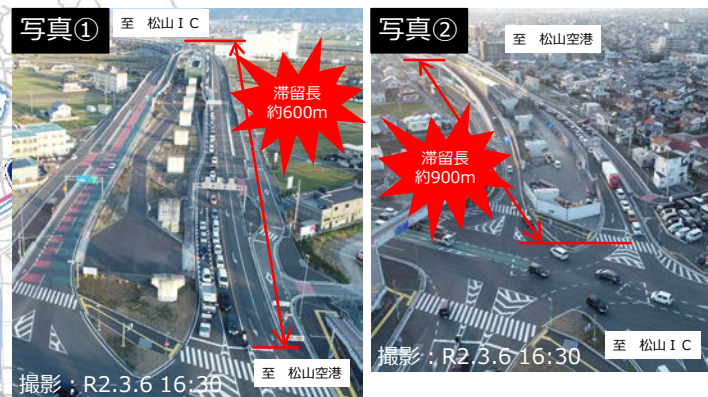
余戸南交差点や松山空港までの渋滞緩和や時間短縮に期待



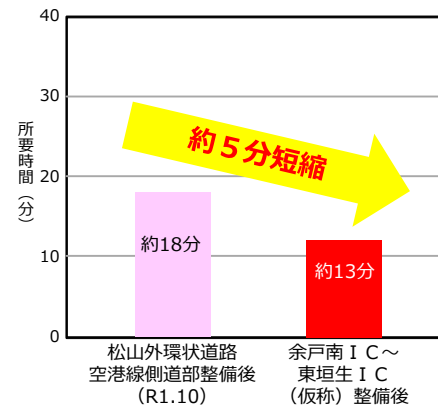
○これまでの開通に加え、松山外環状道路空港線（余戸南 I C～東垣生 I C（仮称））の開通により余戸南交差点が立体交差となり、当該交差点における**慢性的な渋滞の緩和**や松山空港までの**所要時間の短縮（約5分）**が期待されます。



■余戸南交差点の渋滞発生状況



■松山 I C～松山空港の所要時間の変化



臨海部の産業活性化に期待

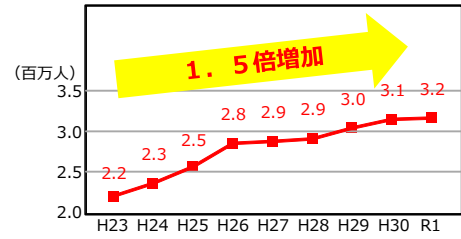


- これまでの松山外環状道路の開通により、松山 I C から臨海部間の所要時間短縮が図られたことで松山空港乗降客数や松山港外資コンテナ貨物量が増加しています。
- 松山外環状道路空港線（余戸南 I C ～東垣生 I C（仮称））の開通により、松山空港や松山港など臨海部での**更なる産業活性化**が期待されます。

■松山港（外港地区）付近の開発状況

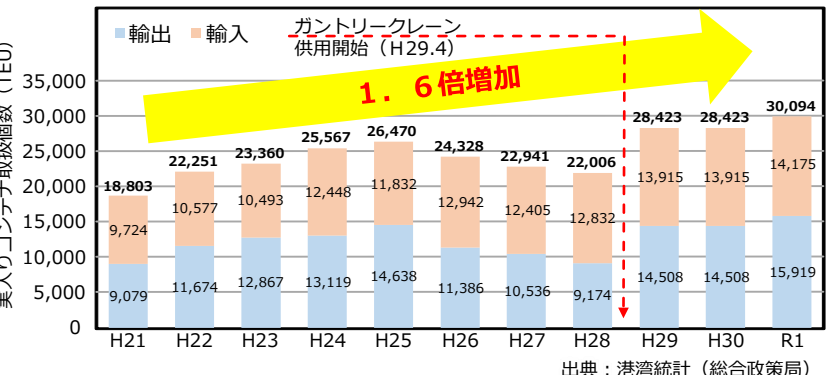


■松山空港乗降客数の推移



出典：暦年・年度別空港管理状況調査

■松山港の外資コンテナ貨物の推移



【県内企業の声】

- ・今後、自動車専用道路部の延伸で、**松山 I C に向かう搬送がさらに便利**になるため、大変期待しています。
- ・松山外環状道路の整備前と比べ、**松山 I C を経由するトラックの移動時間短縮効果を実感**。今後の延伸により、**松山港と工場間（西条市）の輸送がスムーズになることに期待**しています。



通学路の安全性向上や幹線道路の交通事故減少に期待

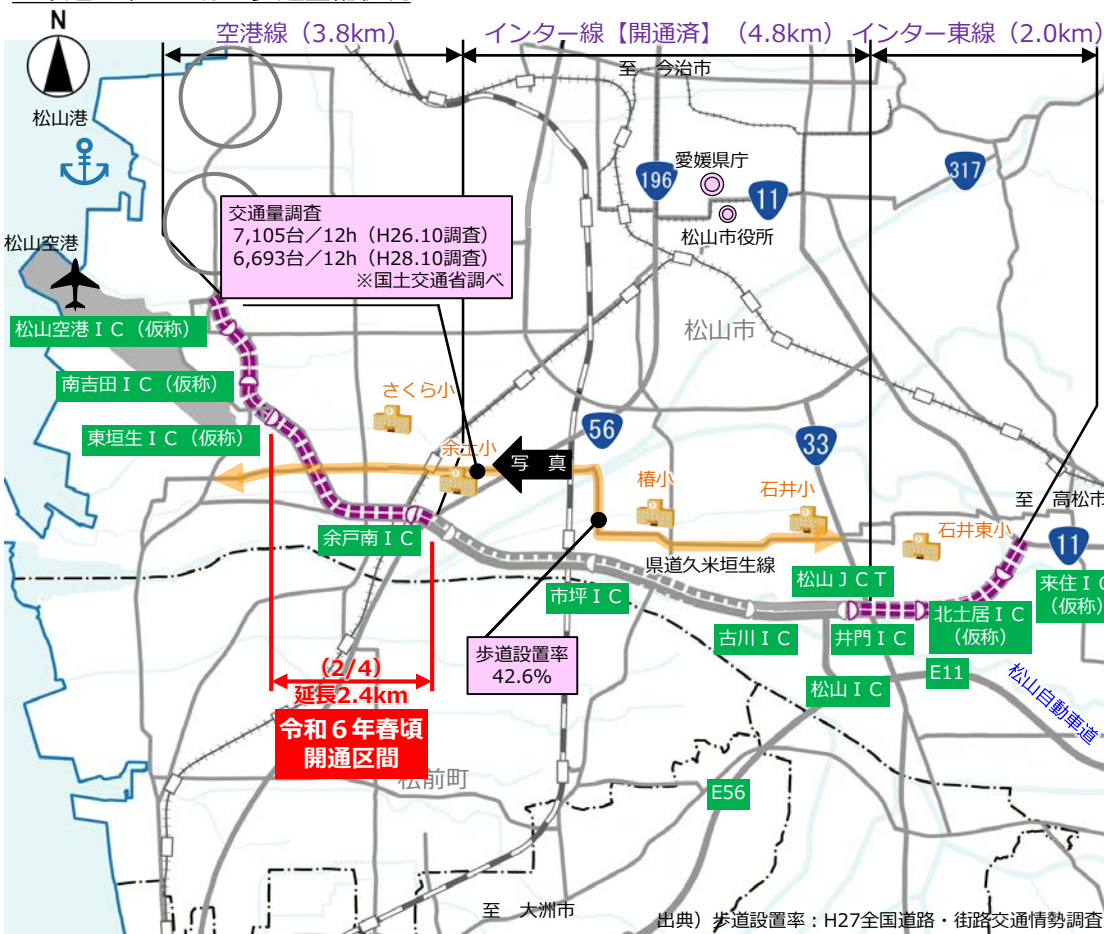


○^{くめはぶ}県道久米垣生線沿線には多くの小学校が点在し通学路に指定されているものの、道路幅の狭い区間や歩道未整備区間が存在するなど交通安全上の課題が多い路線です。

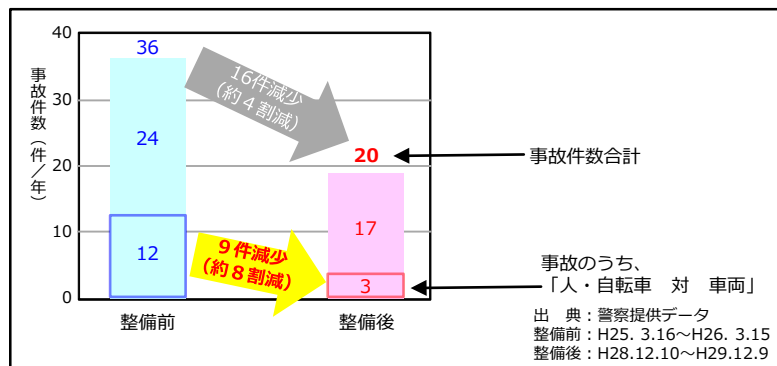
○松山外環状道路インター線の開通により、県道久米垣生線の交通量が約1割減少したことで、**事故発生件数が約4割減少**し、更に**人・自転車 対 車両の事故件数は約8割減少**し、**安全性が向上**しています。

○松山外環状道路空港線（余戸南IC～東垣生IC（仮称））の開通により、更なる交通の転換が図られることで、**通学路の安全性向上や幹線道路の事故減少**が期待されます。

■ 県道久米垣生線の歩道整備状況



■ 県道久米垣生線の事故件数の変化



写真



【小学校関係者の声】

- ・通学時の児童が、車と車の間を抜けて道路を横断しなければならぬこともあり、心配でした。
- ・整備後は**車が少なくなり、より安全に横断できるようになり、安心**しています。





国道11号 新居浜バイパス 事業概要

○国道11号 新居浜バイパスは、国道11号の新居浜市内における交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、四国縦貫自動車道新居浜ICとのアクセス強化を図ることを目的とする道路です。

○この内、令和6年春頃に新居浜市西喜光地町～本郷一丁目の1.1kmが開通します。

位置図



事業概要

構造規格	第4種第1級 第3種第2級
設計速度	60km/h
標準幅員	24.25m～47.5m (完成4車線)

主な事業の経緯

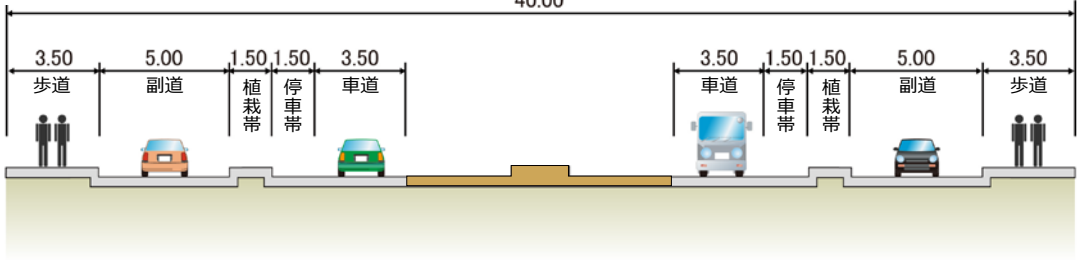
昭和62年度	事業着手
--------	------



詳細図



標準断面図 (暫定2車線)



- 【凡例】
- 高速道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 市道
 - 新居浜バイパス
 - 開通区間
 - 未開通区間
 - 開通予定区間



国道11号における渋滞緩和に期待

- 新居浜バイパスに並行する国道11号は、主要渋滞箇所が点在しており、**慢性的な渋滞が発生**しています。
- 令和6年春頃の開通により、一連のバイパスを形成することで、交通の分散が図られ、**渋滞の緩和**などが期待されます。

■新居浜バイパスの進捗に伴う交通量の変化



■開通前の道路状況



■開通後の道路状況

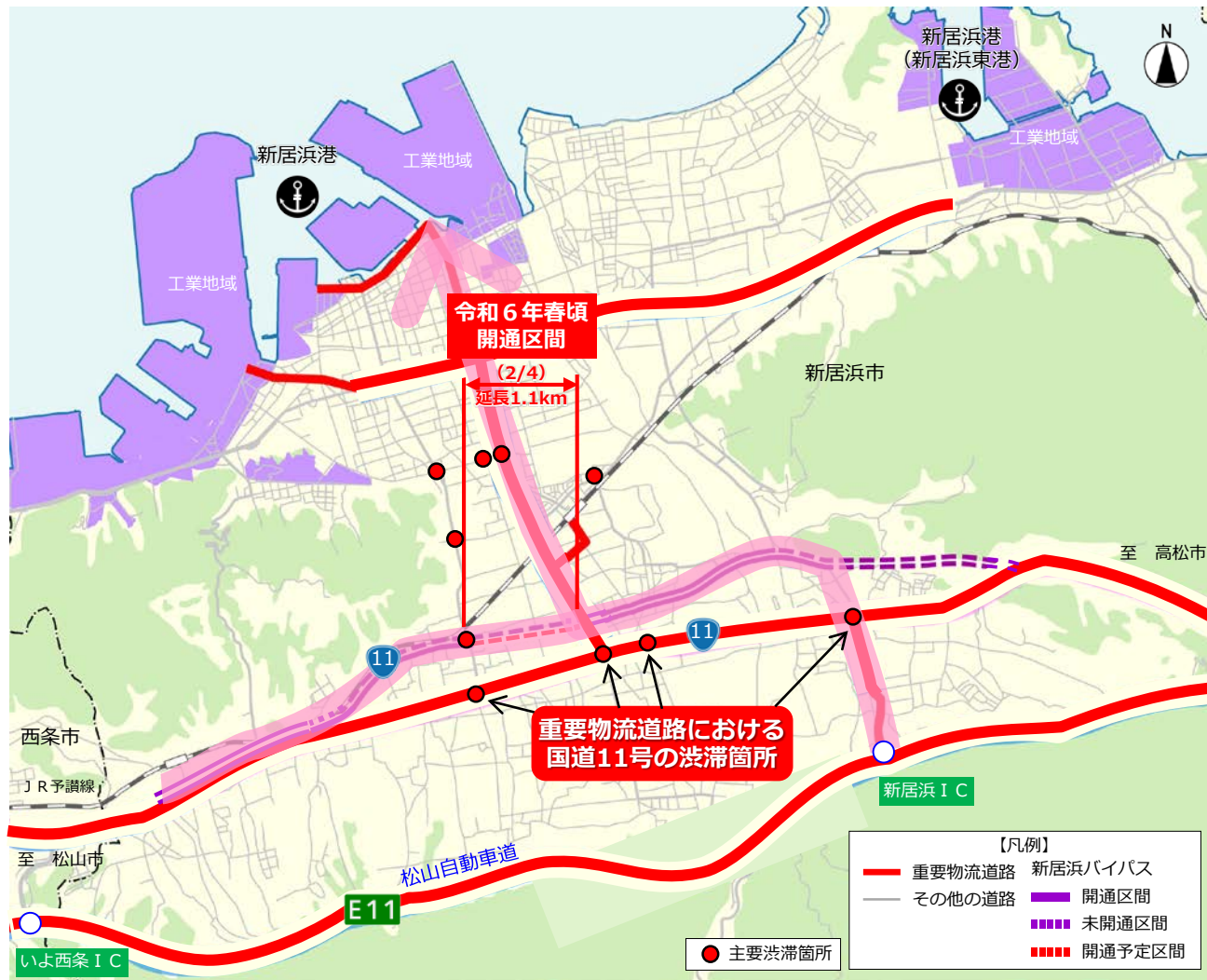


この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに編集・加工したものである。

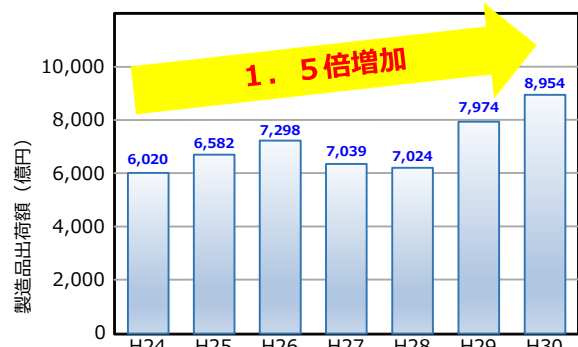


安定的な輸送の確保による地域産業の活性化に期待

- 新居浜バイパスの整備により、国道11号との交通の分散が図られたことで、新居浜市の製造品出荷額が増加しています。
- 令和6年春頃の開通により、臨海部への**安定的な輸送の確保**が実現することで、**地域産業の活性化**が期待されます。



■新居浜市の製造品出荷額の推移



出典：工業統計調査

【新居浜市産業振興担当者の声】

・住友グループ各社やその協力企業となる中小企業群を核とする製造業が基盤産業である本市にとって、**安定的な輸送ルート**の確保は、各企業の**BCP（事業継続計画）**にも繋がる**ものと期待しております。**



この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに編集・加工したものである。
 資料）主要渋滞箇所：愛媛県渋滞対策協議会資料 重要物流道路：国土交通省HP 混雑度：H27全国道路・街路交通情勢調査



国道11号 小松バイパス 事業概要

○国道11号 小松バイパスは、国道11号の愛媛県西条市小松町における交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、今治小松自動車道いよ小松北ICへのアクセス強化を目的とする道路です。

○この内、**令和5年以内に西条市小松町新屋敷の0.4kmが開通**します。

■位置図



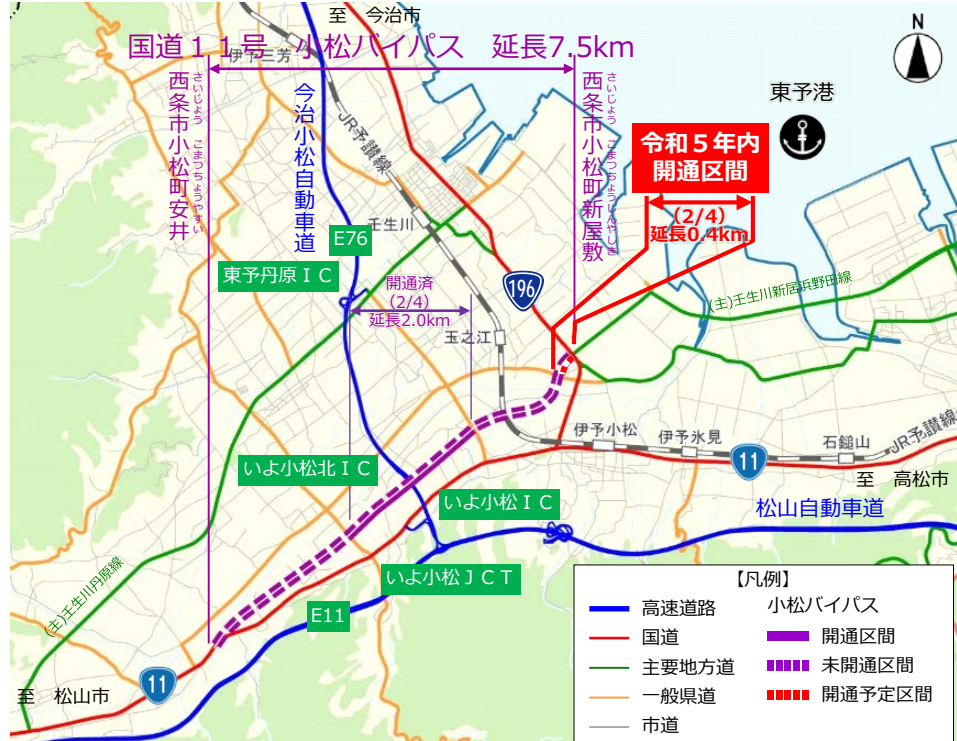
■事業概要

構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
標準幅員	25.00m (完成4車線) 16.25m (暫定2車線)

■主な事業の経緯

平成3年度	事業化
平成11年3月	200m区間暫定供用
平成13年3月	700m区間暫定供用
平成20年3月	1,100m区間暫定供用

■詳細図

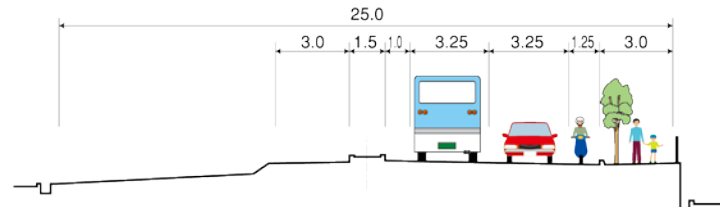


この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに編集・加工したものである。



■標準断面図 (暫定2車線)

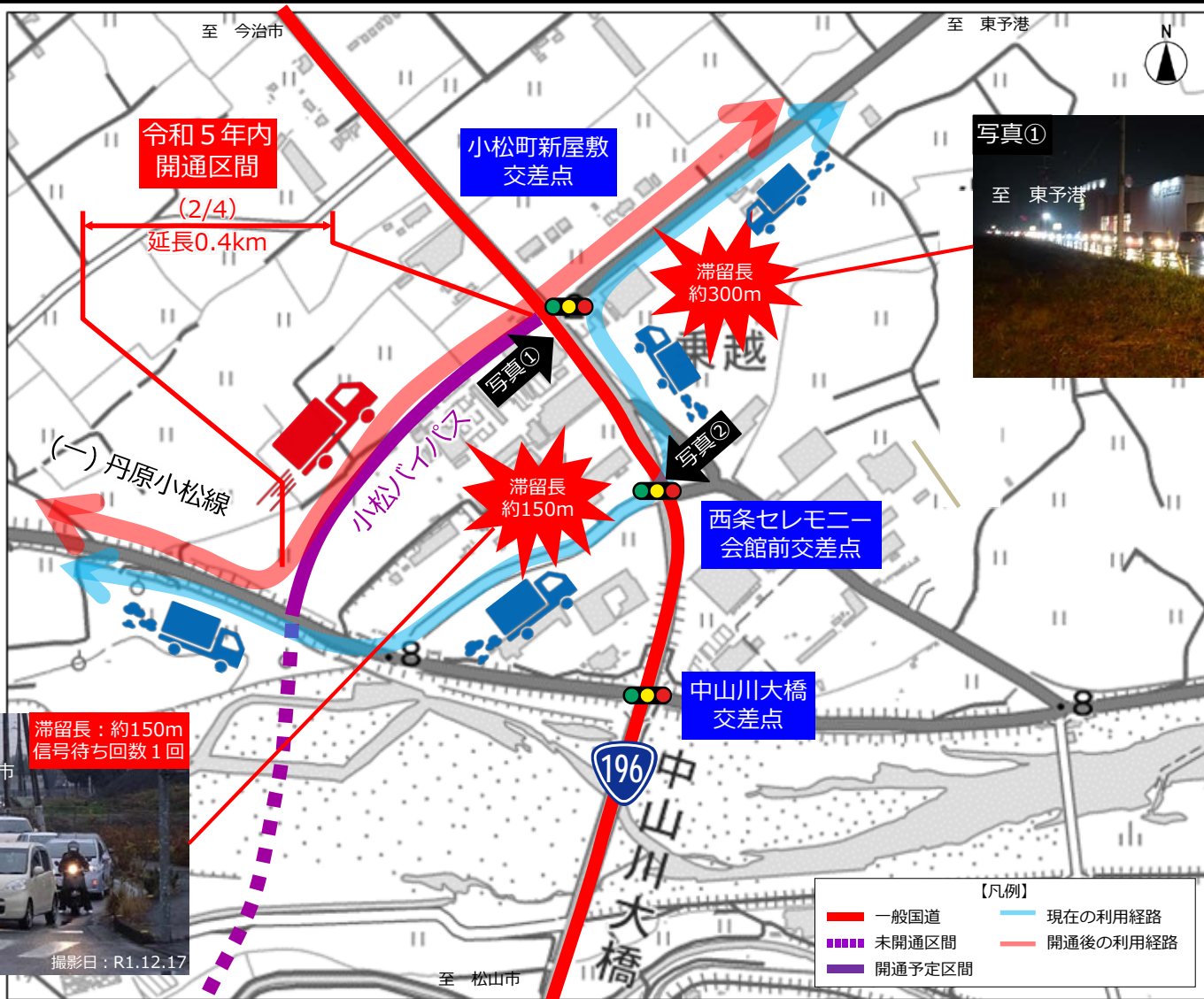
(単位: m)



渋滞緩和及び交通事故減少に期待



- 県道丹原小松線から東予港に向かう交通は、幹線道路の交通渋滞を避けるため地域内の道路を通行しています。
- 令和5年内の西条市小松町新屋敷の開通により、小松バイパスへの交通転換が図られ、**利便性の向上や渋滞緩和、交通事故減少**等の効果が期待されます。



【凡例】

—	一般国道	—	現在の利用経路
- - -	未開通区間	—	開通後の利用経路
—	開通予定区間		